

## 令和5年度 第4回 神戸中学校区学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和5年11月14日(火)16時～17時30分

2 場所 神戸中学校会議室

3 全体説明

4 意見交換(4分科会)

### 【第1グループ あいさつ】

(委員)通学路の草取りをしている

「めざせ日本一のあいさつ運動」

「ごくろうさんです」と声をかけられて感動した

子どもとのふれあいが大切

(委員)通学ボランティアをしている

子どもからもらったメッセージの中に「いつも元気なあいさつをもらって元気をもらった」という内容があった

(委員)あいさつ運は、子どもたちが小集団だときちんと返してくれる

(委員)先日、河曲公民館の文化祭があり、吹奏楽部の演奏が素晴らしかった。部員の上下関係ができており、あいさつもきちんとできていた。先生の指導もよかった。

(委員)子どもたちから「1年よろしくお願ひします」と声を掛けられてうれしかった。

(委員)職場体験学習を引き受けた。子どもたちの様子が担任の先生によって空気感が違うことを感じた。あいさつは大人側がしつこいほど続けると返すようになる。大人の姿が大切である。

(委員)神戸中学校の吹奏楽部の演奏を聴いた感想として、しつけが行き届いているからこそいい音楽が生まれるように感じる。音楽の和音は、先生の指導が行き届いているからこそ出来上がるように感じる。朝の登校時のあいさつは徐々にしてきているように思う。

(委員)あいさつを継続していくためには繰り返しが必要である。

(委員)子どもたちは集団登校の際にいろいろなことを学んでいる。

まとめ:大人が根気よくあいさつを続ける。

大人自らがあいさつをする。大人が手本になる意識を!

## 【第2グループ 交通安全】

(神戸中学校) 見守り隊はない。活動としては危険個所を把握している  
河曲駅ロータリーの状況を県に報告、看板設置を行った。  
あいさつ運動は年4回行っている。

(神戸小学校) 石取祭りのパトロール  
鈴鹿市駅前看板の老朽化、しかしメンテナンス代が確保できていない  
通学時間に合わせ見守りを実施  
元校長に正門前に立っていただいている

(一ノ宮小学校) 月1回のあいさつ運動を正門前で実施している。  
老人会の方も参加いただいている。  
鈴鹿橋両端にPTAの方々が当番を決めたっていただいている  
交通安全教室を実施している

(河曲小学校) パトロール隊には20名の方々が登録していただき、登校時の見守りを行って  
いただいている。  
新規隊員を募集している。  
民生委員の方々にも月1回のパトロールを行っていただいている。  
のぼり旗を立てている。

(委員) 中学生は決められた通学路を使い通学しているのか？

(神戸中学校) 以前自動車と人との接触する交通事故があったため、木田橋から河曲小までの  
歩道には防護柵が設置されている。

(委員) 神戸中のあいさつ運動は年4回行われている。同じ時に小学校の先生方も合同であ  
いさつ運動を行ってきたのだが、以前よりは少なくなっているように感じる。新しい形の  
交通安全運動をできたらと思う。

(委員) 11/5 神戸公園にて 17:30~21:00に  
イルミネーション点灯式、打ち上げ花火大会を まちづくり協議会が主催実施した。  
(LED2.500球) (95発 125万円)  
神戸中吹奏楽部にも演奏をしていただいた。

### 【第3グループ 家庭学習】

#### 【小学校の取り組み】

(一ノ宮小学校) 手引きを使っている。自主学習を行っている。保護者への啓発を行っている。  
(河曲小学校) 家庭学習期間を設けている。担任が忙しく、期間中のことを聞き取れていない。

#### 【意見】

- ・家庭学習で保護者のかかわりが多くなる
- ・個人差が大きい。外国籍児童は文章を読み取れていない。家庭環境にも大きく左右される。
- ・自主学習を自分で計画を立ててすすめることは難しい。
- ・学校では、意識的に図書貸し出しの日を設定している。学習カレンダーにも書き込み、計画的に取り組んでいる。

### 【第4グループ 子どものネットモラル】

(委員) 1人1台端末やコロナもあり、手厚くなっている。

高校からクロムを買うように言われる。

手に入る情報はとても多くなっている。

子どものスマホ所持率が高くなり、色々な動画を見ることができる。

どの様にルール決めをするか。

ライン等の内容を話しの話題にしている。

(委員) 30分使用後休ませる。なるべく外へ出るように心がけている。

テレビを見せていない。なるべくコミュニケーションを取るようにしている。

(委員) 21時には寝るようにしている。テレビは20時30分までにしている。

キッズ携帯のみ渡している。上の子は来年中学1年になるので、どうするか。

(委員) 上の子が小学3年生だが、どのように使うか制限をかけていない。

今は親が子どもを管理できている

(委員) 子どもの能力が大人を上回っている。

(委員) ゲーム動画の時間が増えている。全国より上回っている。

(委員) 昔のテレビが今の動画にあたると思う。

(委員) 自分一人で見せないようにしている。

(委員) ゲームも長くしている。動画も長いしゲームも長い。

(委員) 22時を超えたら朝は起きなくなるので、今のうちに癖付けるようにしている。

- (委員) 上の子の生活に下の子が引きずられることが多い。上の子は中3になってからスマホをもった。GPSとして便利であるが、使う側のモラルが大切だと思う。中学生になるとライングループができ、酷い言葉遣いをしている。
- (委員) 中学3年生の孫のスマホは母がチェックしている。  
子どもが何をしているのかを知る必要がある ティックトックが怖い。  
子どもたちの世界がある リテラシーをきちんとしないといけない
- (委員) 中学1年までがライン、その後はインスタグラムを利用している生徒が多い。  
個人情報一人が上げて、それをスクリーンショットで多数に広げてしまうことがあり、ずっと個人情報が残ってしまうおそれがある。
- (委員) ゲーム内で仲良くなった人のことを信用してしまい、今後その人と会う可能性も出てくるかもしれない。
- (委員) 闇バイト等のグループに誘われてしまうこともあるかもしれない。スマホを使うと家出とは思わないこともある。
- (委員) ゲームでは人とつながることがよくある。小学生でも騙される可能性が大きい。  
家庭で教える必要がある。クロムの制限を子どもは越える。悪いことは一気に広まる。  
保護者自身が知識を付ける必要がある。
- (委員) 保護者にも危機感をしっかり伝える必要がある。
- (委員) 自分ごとになってからではなく、前もって備えておく必要がある。  
情報がないことのほうが怖い。
- (委員) 名前を出さずに言うことは一番汚いことと子どもたちに伝えていく。
- (委員) PTAの中でも啓発をしていきたい。
- (委員) 家庭によって考え方は色々あるが、学校でも家庭でも方策を考えていく必要がある。